

出演団体プロフィール・演目

平賀保育園

演目: 煌めき

「煌めき」は、ねぶたという津軽の伝承文化を大切にしたいという思いで作られたオリジナル曲です。代々受け継がれているこの曲は、年長になれば自分たちが演奏できるという憧れの和太鼓曲であり、今年で20年目となりました。みんなで心をひとつにして、迫力ある和太鼓の響きをお届けします。



広船獅子踊保存会

演目: 橋踊り

広船地区は津軽熊獅子発祥の地といわれ、約500年前より間断なく継承されてきました。その踊りや音律は優雅にして古色蒼然たるものと高く評価されており、平川市を代表する伝統芸能の一つです。



(青森県無形民俗文化財)

古懸獅子舞保存会

演目: 山かけ踊り

古懸の獅子踊は今から約700年前に作られたといわれています。五本山を用いるのが特徴的で、勇壮な頭(かしら)の熊獅子ながら、その所作は鹿獅子に類します。獅子たちの舞には、私たちの祖先が様々な苦難を乗り越えて新天地を創り出す様子が伺えます。



(青森県無形民俗文化財)

金木さなぶり荒馬保存会

演目: 金木さなぶり荒馬踊

金木の荒馬には次のようないい伝えがあります。津軽4代藩主、信政公が民情視察のため突然金木村を訪れ、村はずれの丸木橋を馬に乗ったまま供奴2人に手綱をとらせ、1回、2回と後ろに下がり、右に引き、左に回り、3回目にごさそうと渡りました。

初めて見た藩主の英姿に感激した村人たちは、村の誉れとして永久に残すべく、「虫送り」の荒馬踊に取り入れるようになりました。



(青森県無形民俗文化財)

岡三沢神楽保存会

演目: 権現舞

山伏系神楽に属し、少なくとも江戸時代初期には継承されていました。現在は23個の演目を継承しており、単独の神楽団体としては東北の中でも指折りの数を誇ります。市内での行事のほか、海外でも公演を実施してきました。



(青森県無形民俗文化財)

大館ばやし保存会

演目: 大館囃子

大館囃子は約400年の歴史があるといわれ、お囃子は「寄せ囃子」「大館祇園囃子」「剣ばやし」「還り山」の4曲で構成されています。「寄せ囃子」は、お囃子の始まりを告げ、観客を呼び集めます。「大館祇園囃子」は、京都の祇園囃子の流れをくむ曲です。「剣ばやし」は侍の剣の舞に見立てた曲です。最後の「還り山」は、勝ち戦で帰ってきた侍たちの勝どきを祝って演奏した曲です。



(大館市無形民俗文化財)